



アスパラガス栽培のスタートは春先からの立茎で、この立茎開始直後から茎葉繁茂期にかけて肥料成分を最も多く吸収します。また、アスパラガスの最適な土壌 pH は 6.0~7.0 と高く、カルシウムをたくさん吸収しますが、多年性（連年作）のため下層土のカルシウムが不足し、土壌 pH やアスパラガスの収量

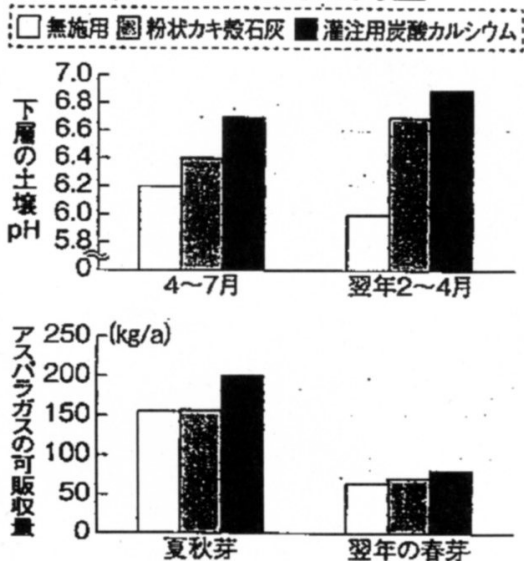
シウムを効率的に供給する方法を検討しました。

アスパラ収量増加

炭酸カルシウム灌注 下層の土壌 pH 向上

の低下を招いています。そこで、生産性向上のためにカル

カルシウム資材の施用と下層土の pH とアスパラガスの収量



その結果、液肥用の土壌灌と、下層の土壌 pH が高まり、(かんちゅう)器を用いて、アスパラガスの収量が増加することが分かりました。炭酸カルシウムを保温前や立茎前に水で25倍に希釈し、400cc/株を灌注施用する (環境研究部門 土壌肥料研究室 井上勝広)